

# 平成26年度 事業報告

## 1 概況

平成26年4月1日、消費税率8%への改正が施行され、税と社会保障の一体改革へ一歩を踏み出し、引き続いて「消費税率改正10%の景気判断条項」への対応や「軽減税率の導入」など課題を抱えて平成26年10月を迎えました。

消費税率の改正への道筋をつけようと、平成26年前半は、我が国全体の景気浮揚感をより実感できるものにし、地域の端々にその効果を行き渡らせようと政府の懸命な経済活性化策が実施され、平成27年度税制改正大綱では、「現下の経済情勢等を踏まえ、デフレ脱却・経済再生をより確実なものにしていくため、成長志向に重点を置いた法人税改革、高齢者層から若年層への資産の早期移転を通じた住宅市場の活性化等のための税制上の措置を講ずる。地方創生に取り組むため、企業の地方拠点強化、結婚・子育ての支援等のための税制上の措置を講ずる。さらに、経済再生と財政健全化を両立するため、消費税率の10%への引上げ時期の変更等のための税制上の措置を講ずる。」と持続的景気回復を支えようと税制における各種の改正が行われました。

私ども法人会は、「税のオピニオンリーダー」として、今取組まれている各種の改正税法の理解を深める研修会や講演会を実施してまいりました。

こうした法人会事業の第一の柱、「正しい税知識の普及」「納税意識の高揚」を図る「税の啓発活動」とともに、第2の柱である「良き経営者の団体として、企業経営及び地域社会の健全な発展に貢献」を図るべく、「地域とともに活動する法人会」としての地域貢献活動も行ってきました。

「税」という普遍の課題に向けて、一步一步確実な歩みを行ってまいりました。

## 2 主な実施事業の概要について

### (1) 公益目的に資するための活動

従来から取り組んできた、「税の正しい理解」「納税意識の高揚」を図る「税の啓発活動」とともに、企業経営及び社会の健全な発展を目指すとした2大主要テーマを「公益目的事業」として取り組んでいます。

イ 「税を巡る諸環境の整備改善等を図る（税の啓発活動）」事業

#### (イ) 研修相談事業

##### ・税務研修事業（税務研修会）

正しい税知識の習得、税務会計処理など全法連作成の各種教材を活用して、より「身近な問題」や「実のある」研修会を目指し、講師に税務署担当官や税理士にお願いし実施しました。

特に、年末調整事務に関する研修会は、地元商工会、商工会議所との共同開催を実現し、とともに、「正しい税務処理」の研修に努めてきました。

税務研修会 述べ12回 参加者数 延べ567名

##### ・相談事業（税の無料相談会）

税への関心が最も高まる確定申告の時期に、税理士会との共催による「税の無料相談会」を共同開催し、一般市民を対象とした個人所得税、相続・贈与税や法人税などに関する相談に対応し、米子法人会の各種活動内容を紹介する「パネル展」とともに、も行いました。

税務相談会	米子地区	米子高島屋
	境港地区	プラント5境港店
税務相談数	58名	

## (ロ) 租税教育事業

### ・ 租税教室

少年少女期の租税教室の重要性が叫ばれ、「鳥取県西部地区租税教育推進協議会」に参加して、小学校における租税教室の講師担当を青年部会会員を中心に東部支部、日野支部、境港支部の役員が従事し、鳥取県西部地区の小学校で「出前授業」方式により実施してきました。

小さい時から、税の大切さを実感してもらえるよう、官民が協力して租税教育の更なる充実を目指す必要性があります。

租税教室開催小学校	21校
-----------	-----

### ・ 税に関する「絵はがきコンクール」及び作品展示会の開催

鳥取県西部地区の全47小学校に呼びかけ、「税について習ったことや感じていること」を絵はがきに表現してもらおうと、23年度から「絵はがきコンクール」を実施。2月18日から3月2日の約2週間、「米子しんまち天満屋」で応募作品の展示会を開催いたしました。2月24日(火)には、ご家族をはじめ多くの方々の参加いただき、盛大な優秀作品表彰式を開催することができました。

特に、募集に多大なご尽力をいただいた10小学校に感謝状を、また本事業のPRにと入賞作品を掲載した「平成27年度 カレンダー」を作成配布しました。

絵はがき作品応募状況	32小学校 (前年30校)
	943点 (前年807点)

### ・ 租税教室講師育成研修会

小学校における租税教室の講師担当に当たっては、「より記憶に残る授業」を通じて、税の役割等への理解を深めることを目指した「講師育成研修会」を企画実施した。

参加・出席者数	51名
---------	-----

神戸税関本関における研修・見学会

税務大学校 本校(租税史料室)における研修・見学会

全国青年の集い「秋田大会」における

租税教育実施報告・検討会

全国女性フォーラム「香川大会」における

税に関する絵はがき作品募集事業報告・検討会

・「税を考える週間」協賛 「親子で税金バスツアー・税関ってどんなところ？」

例年実施されている国税庁主催の「税を考える週間」に協賛し、外国との窓口である米子鬼太郎空港の「税関のしごと」を知ろうと小学生親子による「税金バスツアー」を実施し、入国審査模擬体験や麻薬探知犬のデモンストレーションを見学した。

米子税務署、神戸税関税関支署のご協力により、「楽しい税の勉強会」となりました。

参加者数 58名

#### (ハ) 税制提言、e-Taxの利用促進事業

「税と社会保障の一体改革」が叫ばれている現在、中小企業の事業活性化、法人税率の引き下げなどを求めた、会員及び一般企業への税制アンケートを実施し、これらの意見をも取り入れて全国法人会総連合で集約作成された「平成27年度 税制改正の提言書」を、地元国会議員をはじめ、米子市及び境港市の市長及び市議会議長に手交し、その実現への取組みを要請してきました。

また、ICT社会の浸透の中で国税庁が取り組んでいる「電子申告納税システム」の普及には、法人会も挙げて会員への浸透を推し進めており、目標を掲げて普及浸透を図ってきました。

個人納税者のe-Taxの利用促進に向けて、会員企業へのお知らせを配布するなど、一層の普及促進に努めました。

#### (ニ) 広報事業

新しい税情報の提供のほか、従来に増して「地域情報誌」としての地域情報を積極的に取り上げ、「楽しく、読みやすい」会報誌作りを通じて、「税の啓発」「企業の発展」に寄与しようと年2回の会報誌「みずどり」及び「ほうじん（全法連発刊）」の発行・配布を行ってきました。

また、ホームページには会員のほか一般市民にも各種事業の情報提供や国税庁ホームページ等とのリンク設定を行って、より広範な情報提供をすることにより「正しい税知識」の普及に資し、「適正かつ公平な申告納税制度の維持発展に寄与」してきました。

また、公益社団法人としての「地域情報誌」として、社会貢献活動の紹介を通じて「企業の社会的責任への取組み」を訴え、より多くの企業に「法人会事業への理解と参加」を求めて活動してきました。

会報「みずどり」 9月 74号、27年2月 75号発行  
全法連会報「ほうじん」 年4回配布 春・夏・秋・新春号

ロ 地域社会の健全な発展及び社会貢献を目的（地域貢献活動）」とする事業

#### (イ) 経営支援事業

地域企業の健全な発展こそが「活力ある社会」の創生に寄与することとの

認識に立って、一般教養や経営に関する講演会や助成金セミナーなど、幅広い視点に立った研修会・セミナー及び企業見学会などを開催しました。

講演会	5回	参加者 延べ	353名
研修会・セミナー	7回	参加者 延べ	463名

#### (ロ) 社会貢献事業

企業の社会的責任への取り組みや地域社会との「共生」を目指し、地域社会の健全な発展に寄与することを目的に会員の知恵と労力を出し合って取り組んできました。

##### ① 古布・古タオルの回収及び老健施設への寄贈

会員企業をはじめ多く一般市民の方々の協力を得て、古布・古タオル類の回収を行い、3か所の施設に寄贈してきました。

参加・寄贈者数	85名 (匿名者 4名)
回収内容	タオル 123箱ダンボール箱 (約900枚) シーツ 1,500枚、浴衣 40着

##### ② 米子市湊山公園整備事業協賛

地球温暖化防止とともに地域環境整備への支援として、「さくらの木」寄贈、植樹を行い、「市民の憩いの場」整備に努めました。

ソメイヨシノ 5本

##### ③ 「がんばろう日本！チャリティーゴルフコンペ」

平成23年3月11日の東日本大震災への復興に少しでも役立とうと、その年から「東日本復興支援イベント」として実施してきました。

平成26年8月の豪雨により発生した「広島市土砂災害」は広島地区の法人会の仲間をはじめ地域に甚大な被害が生じていることから、本年度は「広島市土砂災害復興支援」に変更して第4回「がんばろう日本！チャリティーゴルフコンペ」を企画実施しました。

本年も80名の方々のご参加をいただき、集まった募金158,000円を「広島市」に義援金として寄贈しました

参加者 80名 チャリティー募金額 158,000円

##### ④ 地域イベントへの協賛、参加

###### ・「日野郡区 元気な街づくり事業」

地域の歴史的産業遺産「たたら製鉄」の保存及び地域資源化に向けたと取り組みとして、11月3日、日野町役場前ふれあい広場で「平成のふいご祭」が開催され、地元をはじめ各地から多くの来場者があり、事業目的である「たたら製鉄の地 日野町」アピールに資することができた。

##### ⑤ 「鳥取県がん検診受診率向上プロジェクト」協賛

「働き世代をがんから守る」ため、県が推進するプロジェクトに協賛・後援し、がん検診啓発イベント(26.7.26 ホープタウン)参加するとともに、「鳥取県がん検診パートナー企業」認定申請活動を実

施しました。

イベント一般参加 592名  
パートナー企業認定 35社

⑥ いちごプロジェクト（節電キャンペーン）

女性部会の全国統一事業として、「家庭からの節電」を呼び掛ける活動を行いました。

イベント グッズ配布 200個

(2) 会員の福利厚生や会員相互交流等に資するための活動

イ 福利厚生事業

会員の福利厚生に資する事業とともに、法人会財政基盤の確立に重要な事業でもある「経営者大型保障制度」推進とともに、提携保険会社（大同生命保険、AIU 損害保険、アフラック）の紹介を通じて一層の制度普及推進に取り組みました。

ロ 会員支援、交流事業

「多種多様な企業の団体」という法人会の特色を活かした会員交流会を通じ、会員相互の新たな「交流の輪」を拓けることができました。

恒例の「わいわいガヤガヤ交流会」は、「大山Gビール」の田村社長から「地域から世界へ」と題した卓話と共に、参加者による「アピール Time “わが社自慢”」を行い、活気溢れた交流会となりました。

「わいわいガヤガヤ交流会」参加者数 37名

ハ 会員増強及び組織充実に資するための活動

地域の各企業では「企業の持続的発展に、地域社会に貢献する」との認識で、各種の活動を行っておられ、これら個々の活動を法人会と一緒にやって行くことで、その効果を一層高めていこうと、会員増強活動を行ってまいりました。その結果、ここ10数年来減少してきた会員数が初めてプラスに転じることができました。会員増強に取り組まれた会員のご尽力に厚く御礼申し上げます。

今後も、公益社団法人としての活動を継続するために、「会員数の確保・拡大」に引き続き取り組んでいく必要があります。

平成26年12月末 前年 +5社（会員増強表彰 受彰決定）

(3) 支部及び部会活動

イ 支部活動

法人会組織の活性化には、「地元に着した法人会」支部の活動が何より重要であり、「活動の原点は支部に」をテーマに各支部地域の活性化や役員会を通じた支部会員の交流に視点を置いた「交流会」などを開催し、組織の充実に努めてきました。

経営支援事業 企業見学 東部・日野支部 48名参加

講演会 境港支部 38名参加  
 会計研修 境港支部 延べ258名参加  
 税の広報事業 「税のパネル展・税金クイズ」(地域イベント参加)  
 クイズ参加者 3会場 495枚応募  
 社会貢献事業 地域活性化協賛事業  
 日野支部ほか

< 支部別会員状況 >

平成27年3月31日現在

支 部	期 首 会 員 数	平成26年度		現 在 会 員 数
		加 入	退 会	
米 子	1 3 7 2	3 9	3 4	1 3 7 7
境 港	3 0 6	7	5	3 0 8
東 部	1 2 6	3	3	1 2 6
日 野	8 1	0	3	7 8
合 計	1 8 8 5	4 9	4 5	1 8 8 9

ロ 青年部会・女性部会

会員同士の切磋琢磨と自己研鑽を通じ「時代を担う経営者を目指す」「女性の視点で地域社会に貢献活動を」と、各種の事業に取り組んできました。

特に、小学生の租税教室、絵はがきコンクール、をはじめ古布・古タオルの回収・寄贈活動など、法人会活動の主要テーマである税の啓発・普及活動や社会貢献活動の中心的活動主体として、その役割を果たしてきました。

本年、青年部会は「設立30周年」を迎えたことを機に、主要活動である「租税教育活動＝小学生の租税教室」をより充実するため、記念事業として「租税教室講師養成プロジェクト」を企画し、「神戸税関 本関」「国税庁 税務大学校」での研修・見学を実施しました。

また、併せて、歴代青年部会長にも参加いただき「設立30周年記念祝賀会」を開催し、青年部活動への新たな決意をしたところです。

(4) 適正・的確な組織運営及び事務局運営

理事会を中心に適時的確な委員会等の組織運営とともに、事務局の効率的運営に努めるとともに、事務運営における手続きの遵守、相互監査による不適切処理等の防止等にも努めてきました。